

令和7年度 戸部本町地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

ー総括表ー

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

令和6年度4月～2月までの相談内容は介護保険(45.9%)、日常生活課題(25.2%)、認知症(6.5%)、成年後見制度(5.7%)の順となっています。
・地域住民が高齢となり認知症状を発症し、認知症の人とその家族が地域からの孤立、独居高齢者の閉じこもり傾向になり、生活に支障が出たり、地域の活動への参加が難しくなる場合が多く見受けられます。認知症への理解や高齢者の見守り・役割の持てる活動を地域住民・地域支援者・専門職と共有し、課題解決に向けて協働で取り組みます。
・高齢者が自分らしく、自立した生活が送れるよう、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、地域活動、通いの場 への参加がつながりのきっかけとなるよう努めます。
・新築マンションの増加や生活の利便性に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

ー具体的な取組内容ー

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| ☒ | ☐ | チームオレンジの活動を推進する
・けあぶらdeラジオ体操に、認知症当事者が気楽に参加でき認知症当事者が役割を持って活躍出来る場を作る。
・認知症当事者・家族が参加出来る認知症カフェを西区在宅介護者の会「あけぼの会」と協働で立ち上げ・開催する。 |
| ☐ | ☒ | 身近な場所で介護予防に取り組めるように、フレイル予防講座の出前講座を5か所で開催する。 |
| ☐ | ☒ | 地域版広報誌「とべとべ通信」ホームページ、チラシ等でケアプラザの機能、自主事業、福祉・保健活動を周知するほか、LINEを活用しタイムリーに発信できるよう努める。 |
| ☐ | ☒ | 西戸部3丁目の相談時に手帳の案内。町内の行事の際、手帳の普及。定期的にお元気あんしん連絡会の開催を開催し連絡会メンバー間での配布状況の確認、手帳の更新を行う。 |
| ☐ | ☒ | ・包括レベル地域ケア会議を開催し、「認知症の方が地域で暮らしていくために」をテーマに《啓発 予防》《居場所》について取り組む |

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

・軽度認知障害(MCI)の診断を受けた方が予防的に安心して通える場作り、また認知症当事者が気軽に参加できる交流の機会や役割の確保を目的として、地域支援の体制整備を進めました。
・お元気あんしん連絡会を開催し、ポスターの作成やおすめ行事欄のリニューアルを行い敬老週間に配布を行うなど、町内の中で周知、普及することができました。
・広報誌にてケアプラザ自主事業、福祉保健活動の周知を行いました。HPでは貸館開閉館状況、Lineでは事業の案内を発信することで自主事業を知るきっかけを作り参加者を増やすことができました。
・戸部本町に限定し、包括レベル地域ケア会議を開催。「認知症の方が地域で暮らしていくために、私たちができること」をテーマとしました。認知症の講座を繰り返し実施することで、地域に啓発・予防の大切さを周知することができました。地域資源(居場所)の再確認や再整備等ができました。
・介護予防出前講座(フレイル予防)を6か所で開催し、はじめての開催場所の松島病院では、新規参加者が増えました。

☐ 区からのコメント

(全事業共通事業)
○地域の会議や自治会・町内会、サロン等のさまざまな場面に積極的に出向き、支援者との顔の見える関係づくりや情報共有に丁寧に取り組んでいただきました。特に、地域の状況や課題を的確に捉えながら、住民の孤立防止や見守りの体制づくりに向けた働きかけが継続して行われています。
○ケアプラザ周辺地区の社会資源の調査・発掘、マップ作成による活用は目を見張るものがあります。今後も引き続き、各部門が連携した高齢者を支える取組みの推進を期待します。
○情報発信については、引き続き、広報誌・ホームページ・LINEなど既存の媒体を着実に活用し、地域の多様な層に向けて継続的に情報を届ける工夫がなされていました。特に、自治会のない集合住宅や若い世代など、従来つながりにくかった層に対しても発信が続けられています。
○西戸部3丁目における「お元気あんしん手帳」の取組については、協議体での検討を重ね、担い手の方々と協働しながら配布状況の把握や内容更新を進めたことにより、地域内での認知が広がり、見守りの強化にもつながっています。取り組み方法の検討も併せて、他の地域での展開も期待します。
○令和8年度は、第5期地域福祉保健計画の推進初年度にあたり、重要なスタートアップの年となります。地区の実情や課題に寄り添いながら、計画に掲げられた目標の達成に向けた支援が進められることを期待しています。

(地域包括支援センター事業)

○これまで地域ケア会議等を活用し、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを丁寧に進めてこられた取組を土台に、令和7年度は新たにチームオレンジ活動として、当事者が参加・交流できる取組に、包括内で密に連携し尽力いただきました。事業を長期的な視点で運動させ、地域づくりを進めていただいていることに感謝いたします。介護予防事業においても、エリアニーズを踏まえ新たな場所で講座を開催するなど工夫をいただきました。今後も、丁寧に地域アセスメントのもと、地域住民やケアマネジャー等関係者と連携した一層の取組の充実を期待します。